



## 2学期を迎えて

夏季休業中には大きな事故等の報告もなく、穏やかに2学期をスタートすることができました。保護者・地域の皆様の見守りのおかげと、心より感謝申し上げます。南海トラフ地震に関する臨時情報や、毎日のように発表される熱中症警戒アラートに、ご自身や家族を守ることへの気苦労も多い8月だったことと思います。また、新学期早々、台風10号の接近に伴う大雨の情報にも腐心されたかと思えます。9/2(月)の臨時休校は、結果的には杞憂だったとご指摘もありますが、気象の専門家でも予測が難しい台風の進路の迷走ぶり、学校を避難所として開放する可能性が高かったこと、日曜日や月曜日の判断では、すでにその時点で発災していたら連絡徹底の見通しが立たないこと、等を踏まえ、市内全校の休校が早めに決定された次第です。今後も台風の接近等があるかもしれませんが、安全を最優先し、混乱を避けるために、今回のように早めの対応をすることもあり得ます。その都度ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

さて、2学期を迎え、生徒たちは「かしわ祭」の準備に入り、校舎には歌声が響いています。文化の部(合唱コンクール)および体育の部は、平日に半日ずつ開催されます。コロナ禍でも「かしわ祭」の灯火を消さぬよう、卒業していった生徒たちが手探りで内容を模索し、開催してきました。その間に、16:30下校の実施や教員の働き方の見直しなど、新たな条件の中で大仁中のかしわ祭はどうあることが望ましいのか、教員が議論し、生徒は知恵を出し合い、この行事をつないできました。大事なことは「ねらい」を焦点化し、生徒の取り組みをしっかりと教員が評価し、生徒相互も認め合える土壌を築くことです。特に学校行事においては、目的を共有し、役割分担を明確にして協働で進める必要があります。それを実体験し、自分や仲間の良さに出会い、社会性を育む糧にすることが大切です。大中学生には、係の仕事や練習に仲間と関わり合いながら、お互いの良さを認め合う場面をたくさん経験してほしいと思います。生徒たちは「優勝」にこだわりますが、終わって振り返ったときには、勝ち負けの結果にとらわれず、その過程や努力に価値を見出せるよう支援していくことが私たちの役目だと思っています。この学校便りが各家庭で回覧されるころには、9月27日に開催予定の文化の部は終わっているかもしれません。体育の部は10月10日(木)の開催予定です。保護者の皆様はもとより、区長様や民生委員・児童委員様はじめ、地域の皆様にも、運動場での生徒たちの様子をご覧いただければ幸いです。(文責:校長)



### 【かしわ祭体育の部】

8:30 開会

駐車場は、かしわグラウンドを開放します。鍋沢方面より一方通行の入場となりますのでご協力をお願いします。生徒たちの活躍をぜひご覧ください。

## ★★★ 2学期の学校の様子を紹介します ★★★

### 避難訓練

今回の避難訓練は、授業中に先生がいないという場面想定して、理科室からの火事の場合の訓練を行いました。落ち着いて自分たちで避難経路を考えて逃げるができたと思います。今回は雨天のため、体育館に避難しましたが、こうした方がよかった、次はこんなことができると思うなど、訓練後の振り返りでは自分たちのこととして捉えた感想が多く見られました。



### 防災学習

2年生の総合学習で、伊豆の国市危機管理課の職員を講師に招いて出前講座を実施しました。過去の台風の被害状況とハザードマップを用いて比較をしたり、浸水や土砂災害など災害の種類に注目して地図を見てみたり、自分たちの地域について理解を深めることができました。その後、水害時の応急対策として用いられる土嚢作り体験を行いました。今回土嚢づくり体験で作った土嚢は、実際に災害時に必要な場所で使用されるとのことでした。



先日、生徒委員会で靴のルールについての提案がありました。これまでは「通学用の靴は白を基調とし、運動に適するものにしよう。」となっていましたが、「避難時の安全性・運動に適しているかを考えて、運動靴で靴紐などにより調節できるものにしよう。」となりました。自分たちで学校生活のルールを見直し、より良い学校づくりを目指すことは、生徒の手による主体的な取り組みです。

### 地域で活躍する大中生！

学校だけではなく、地域でも様々な行事が復活しています。そのような中、8月には大仁夏まつりでのボランティアに中学生が参加しました。また、美術部による大仁神社の長屋の幕の製作を行いました。10月には吉田区の祭りで吹奏楽部が演奏したり、中学生が行列式に参加をしたりします。三福区では、熊野神社例大祭にて、三番叟が奉納されます。様々な体験を通して成長し、地域の一員として活躍する姿はとても頼もしいです。

